

～未来技術の社会実装と地域における新産業の集積を目指して～

**東三河ドローン・リバー構想推進協議会**  
**災害時状況把握及び物流実証実験を実施します**  
官民連携による17社・団体が複数用途の実証を行います

豊川市及び新城市では、令和2年8月に「東三河ドローン・リバー構想推進協議会」を設立し、ドローンやエアモビリティ（空飛ぶクルマ）に関する新産業の集積をはじめとする地域経済の活性化及び地域課題の解決に向けた官民協働の取組を進めています。

この度、本協議会物流研究会と災害対応研究会の連携により、災害時の状況把握及び物流を目的としたドローンの実証実験を下記のとおり実施します。

記

### 1 開催日時

令和3年11月3日（祝・水）（予備日：11月4日（木））  
午後1時30分から2時30分まで

### 2 開催場所及び離発着地点

本部及び離発着地点

- ①昭和電線ケーブルシステム株式会社  
豊川市御津町佐脇浜2号地1-10
  - ②御津2区避難用高台  
豊川市御津町佐脇浜地内
- ※取材及び見学は離発着地点①にて行います。



### 3 当日スケジュール

午後1時  
午後1時30分から2時まで  
午後2時から2時30分まで

図1：位置図

受付開始（昭和電線ケーブルシステム株式会社）  
災害時状況把握の実証  
物流オペレーションの実証

## 4 実施内容

### (1) 実証実験全体の流れ

豊川市御津臨海部エリアにおいて、前半に災害時の状況把握、後半で物流オペレーションの2つの用途での実証を行います。

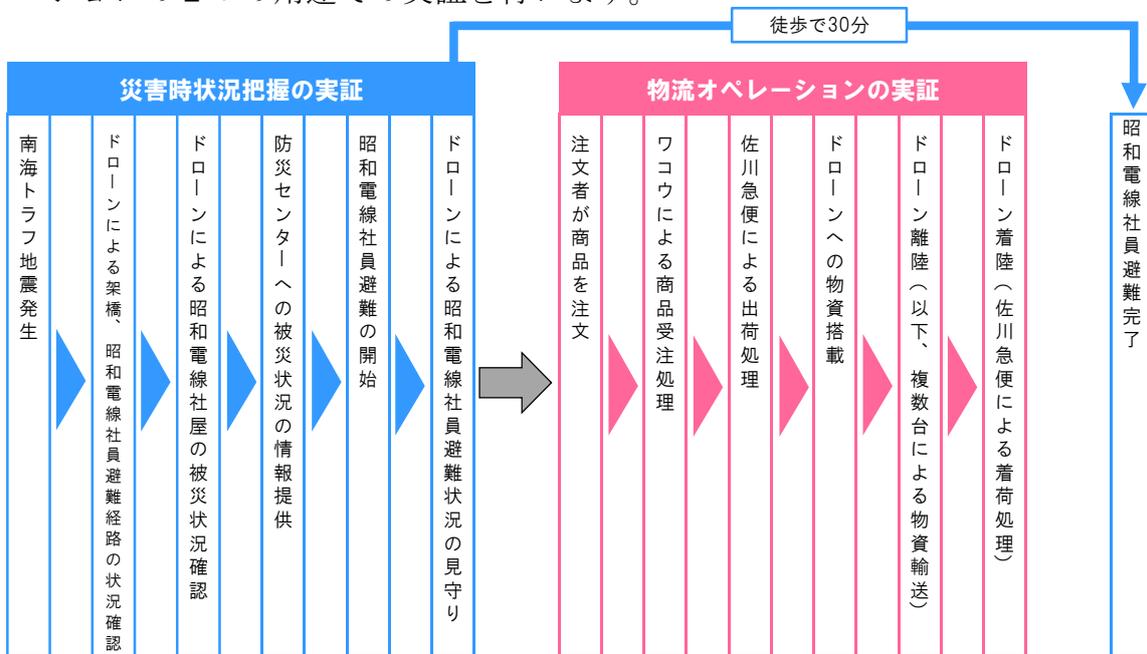


図2：実証実験全体の流れ

### (2) 災害時状況把握の実証

南海トラフ地震の発生を前提として、豊川市御津臨海部の立地企業の主体的な避難行動にドローンを活用し、橋梁や社屋の被害状況の確認と従業員の避難経路の確認を行います。

また、企業がドローンで把握した状況を災害対策本部となる豊川市防災センター、救助活動を担う豊川市消防本部とも連携し、災害時における民間情報の収集及び迅速な救助活動支援（災害初動）体制の検証を行います。

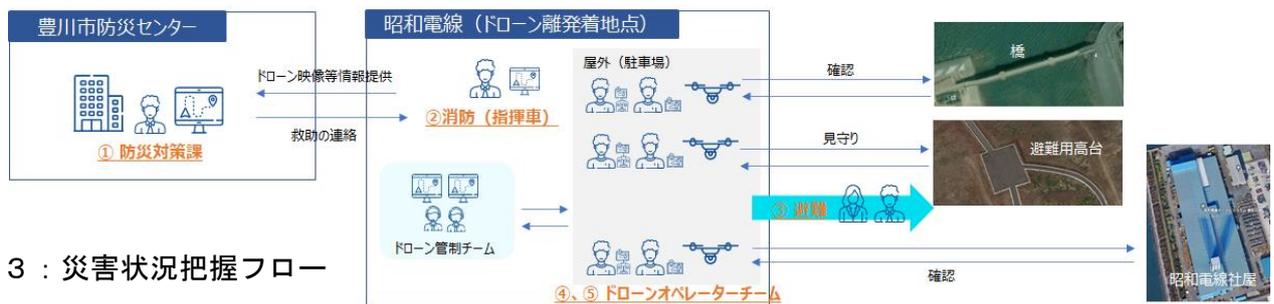


図3：災害状況把握フロー

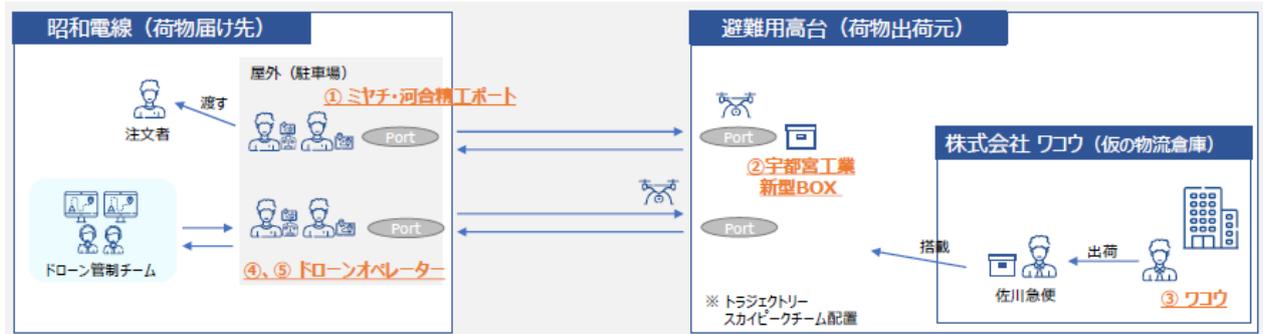
### (3) 物流オペレーションの実証

2022年を目途とする「有人地帯上空での補助者なし目視外飛行」、いわゆる「レベル4飛行」の実現を見据え、都市部上空での活用が期待されるドローン物流の本格導入に向け、物流事業者の既受発注システム（ネット注文）を活用した複数機の

ドローンによる注文品の配送を行います。

また、地元企業が開発を進めているドローンの離発着を支援するドローンポート（2基）や、庫内温度を一定に保つ遮熱ボックスを注文品の配送に併せて運用し、物流に必要な周辺製品の品質向上にも取り組みます。

図4：物流オペレーション実証フロー

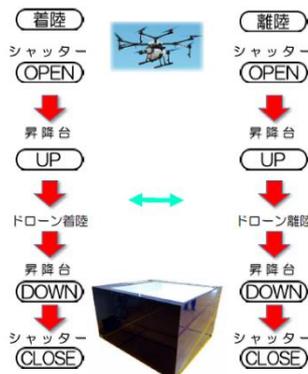
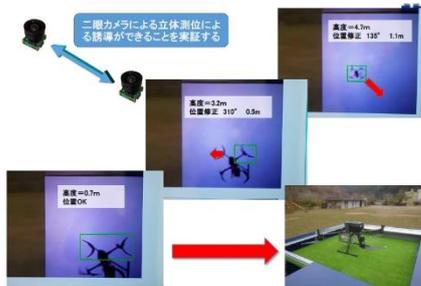


(4) 飛行ルート及び機体

用途	経路	概要
災害時状況把握	ルート1	往復 2.29km 飛行時間約 6分 高度 60m
	ルート2	往復 2.76km 飛行時間約 8分 高度 30m
	ルート3	距離約 400m 飛行時間約 6分 高度 30~100m
物流オペレーション	ルート4	往路 1.46km 飛行時間片道 4分 高度 60m
	ルート5	復路 1.48km 飛行時間片道 4分 高度 90m



(5) ドローンポートイメージ



## 5 実施体制

本協議会の物流研究会及び災害対応研究会が連携し、官民17社・団体にて事業を実施します。

企業及び団体名	役割
昭和電線ケーブルシステム株式会社	避難用高台への従業員避難
御津臨海企業懇話会	立地企業間の関係者調整
豊川市防災センター (豊川市企画部防災対策課)	災害時における民間情報の集約と初動体制の構築
豊川市消防本部消防本署	避難者からの救助要請に伴う救助活動
株式会社トラジェクトリー	ドローン管制システム、飛行経路の作成、オペレーション(機体運航)
ENWA株式会社	映像伝送
株式会社スカイピーク	オペレーション(機体運航)
株式会社エムアンドシー	
ユタカコーポレーション株式会社	
一般社団法人みかわドローン協会	
有限会社トライプーム	実証実験の撮影
株式会社ワコウ	ネット注文による受発注システム
佐川急便株式会社	配送品の出荷及び着荷処理
宇都宮工業株式会社	輸送ケース、遮熱ボックス製作
有限会社河合精工	輸送ケース、ドローンポート製作
ミヤチ株式会社	ドローンポート製作
株式会社トヨテック	

## 6 参加対象者

- (1) 東三河ドローン・リバー構想推進協議会の関係者(会員・協力会員・顧問・オブザーバー等)
- (2) 報道機関

※実証実験の安全確保のため、一般の方の見学はご遠慮いただきます。

※申込多数の場合は1団体1名様とさせていただきます。

## 7 参加費 無料

## 8 取材申込について

当日の取材を希望される報道機関の方は実証実験の安全確保のため、別紙「取材申込書」に必要事項を記入し、**令和3年10月29日(金)までに**以下の申込先までFAX又はメールにて提出ください。

(参加証は発行しません。定員超過により申込みをお断りする場合のみ連絡します。)

## 9 その他

- (1) 参加の際には、新型コロナウイルス感染防止対策として、必ずマスクの着用をお願いします。
- (2) 当日、発熱あるいは咳・全身痛等の症状がある場合、体調が優れない場合は来場をお控えください。
- (3) 感染拡大の状況や、悪天候の際は内容の変更、開催を延期、中止することがあります。その場合は、取材申込書記載の連絡先にお知らせします。

### 【お問合せ・申込先】

東三河ドローン・リバー構想推進協議会 事務局  
新城市役所 企画部 企画政策課 担当：酒井・竹下  
TEL:0536-23-7620 FAX:0536-23-2002 Eメール:kikaku@city.shinshiro.lg.jp

